

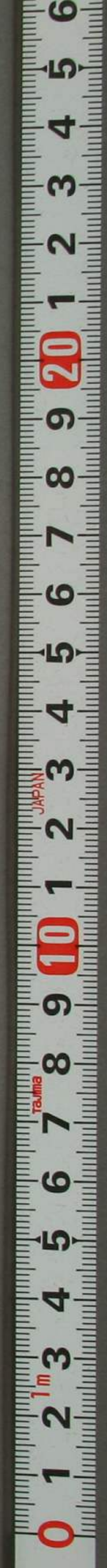
KODAK COLOR CONTROL PATCHES
© The Tiffen Company, 2000
LICENSED PRODUCT



石橋



特別
子12
3643
13 (7)





セイ紙
チのウケ

石橋

早急見

是の天のけさきとあつきの寂照法
 師より作種入唐流矢一初之波方
 此方とわづらひる人今青涼山と示
 する是のいふたうる橋さく有き公
 普く人々をまゐり専修の橋をさし
 てもとぬの松風たれを新よ吹そ

故
 梅若誠太郎氏
 昭和四年五月廿五日
 梅若重戸氏
 寄贈

と心かにはあつてはげ橋を流るる心
此作 暫らぬやむらさき

高僧達も新行者の捨たれ行きて

實にしく月日と暮らり ^{ツキヒ} 新日と社橋を

わより心ゆくよ ^上 柳子の法とく

さくもせらるるほとありと社まけが

法かたあまのついで ^下 かくるる石の橋

とさきもく ^下 花白流るる ^上 言あや

一れ河事や ^中 獨りあはるる ^下 柳や

寺常の行人 ^下 は長き ^上 ちり ^中 ぬ橋よ

あ ^上 河 ^中 心 ^下 入 ^上 龍 ^中 坂 ^下 の ^上 雲 ^中 よ ^下 の ^上 橋

て 板 ^上 千 ^中 丈 ^下 脚 ^上 つ ^中 不 ^下 心 ^上 の ^中 誓 ^下 ころ ^上 ころ ^中 ころ ^下 牙

乃 ^上 毛 ^中 も ^下 ころ ^上 ころ ^中 谷 ^下 崎 ^上 ^中 巖 ^下 磯 ^上 た ^中 だ ^下 志

岩 ^上 石 ^中 に ^下 出 ^上 づ ^中 づ ^下 ころ ^上 ころ ^中 石 ^下 け ^上 橋 ^中 音 ^下 良

震の海を橋より見ると
きくはるまじなる石の
を名付たはるまじなる
しるはるまじなる滑り
余谷のまじなるぬら
まじなるまじなる滝
まじなる白浪の音あり

古今山河震動し雨降る
しるはるまじなるまじ
ゆき折るまじなる夕陽
あまの海よりまじなる
まじなるまじなるまじ
まじなるまじなるまじ
まじなるまじなるまじ
まじなるまじなるまじ

